

「アジアの祭りと芸能」プロジェクトは、アジアの各地の祭り  
と芸能という具体的、個別的な事象を研究することによっ  
て、日本人の宗教心、カミ観念をアジア諸民族との比較の中  
で明らかにしようという、野心的な、しかし、もっとも今日  
的なテーマを掲げて、1989年度に発足した。初年度における  
このプロジェクト・チームのメンバーは、本学所属の研究員  
として諏訪春雄、吉田敦彦、新川哲雄、諏訪哲郎、外部から  
の客員研究員として徳田和夫、黄強、田仲一成、猪野史子の  
計八人であった。第二年度には、ここから諏訪哲郎が他チ  
ームに移って抜け、代わって学内から佐佐木隆、学外から河野  
亮仙が加わった。さらに、社団法人昭和会館からこのプロジ  
ェクトの中国学術調査に対して助成金が与えられることにな  
り、他機関からの助成金による田仲一成の中国調査に加えて、  
主として諏訪春雄、黄強の両名による中国の祭りと芸能の調  
査は大きな成果を挙げることができた。同機関に対して、心  
から感謝の意を表するものである。

この調査研究報告は二年にわたるプロジェクトの研究成  
果の一部である。それぞれの論稿が独自のテーマを設定して  
個別的問題を追及しながら、全体として、中国、インド、日  
本のアジアの国々を中心とした信仰と宗教の状況について  
のもっとも尖鋭で、高い水準の研究が成し遂げられていると  
信じている。御教示と御批判をいただけたら幸いである。

1992年3月

「アジアの祭りと芸能」

プロジェクト・チーム

代表研究員 諏訪春雄